

の日に結果を出すために頑張ることは私も皆さまもやっていると思います。あとはその頑張ったことを本番で出せるか出せないかという点で私自身は楽しむことを心がけています。勝ち負けという結果は後で出るもの。結果を追うよりも自分の全力を楽しめば結果は向こうから来てくれます。

二つ目は、感謝することです。

私は、現在、剣道特別訓練員の主将をやらせていただいています。

特練生活十四年間に剣道を通じて職域関係なく様々な人達と剣を交え、言葉を変えずなかで剣道だけでなく自分自身を成長させていたたく機会をたくさんいただきました。本当に感謝しかありません。

三つ目は、絶対に諦めないことです。

私は、決して剣道が強いと言われる人間ではありません。何度も負けて悩み考え稽古をやつての繰り返しをしました。その結果選手権に出場する権利を獲得しました。皆さんも夢や目標があったり、これから持つ人もいると思います。その夢や目標に對してうまくいかなかったり壁にぶち当たって悩んだりしてしまうときもあると思います。それは当たり前です。夢や目標はそれだけ大きく達成するのが難しいことです。だから、絶対に諦めずに追い続けて下さい。求めて追い続けなければ叶いません。

以上私が感じた三つを紹介させていただきました。皆さまの今後の活動に二つでも参考となれば幸いです。

私自身もまだまだ精進するために努力していきます。今後とも御指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

第六十二回 全日本女子剣道選手権大会に出場して

阿部 なるみ



令和五年九月三日に行われた全日本女子剣道選手権大会に出場させていただきました。決して簡単に味わうことのできない経験をすることができました。全国トップの選手が集まるこの大会で岐阜県の代表として出場させていただき、本当にありがとうございます。結果は一回戦延長の末負けてしまいました。大会に向け全力で準備をし挑めたこと、この大舞台で自分の剣道をやり切れたことは自分にとって良き経験となり、更なる上を目指す良いきっかけとなりました。

わかくさの稽古や、普段の笠松刑務所の稽古でも沢山の激励をしていただき、試合当日も大人数で会場まで足を運び、どこも県よりも声援と拍手で盛り上げて下さり、自分は沢山の人の応援されているという強い気持ちで試合することができました。そして、改めて本当に温い人達の中で大好きな剣道ができているのだと実感しました。本当にありがとうございます。

私自身もまだまだ精進するために努力していきます。今後とも御指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

東海四県対抗剣道大会

男子2位 女子3位

監督 近藤 宏治

本大会は、令和6年3月3日(日)名古屋千種スポーツセンターにおいて開催されました。

女子については、2位が続いておりしばらく優勝から遠ざかっている状況でしたので、今年こそは、という意気込みで臨みました。

結果は、安定した力を発揮した愛知県が全勝で優勝し、当県は、1勝1敗1分の3位で悔しい結果となりました。出場した選手は、試合で得た課題を克服するよう、今後も稽古に励み、来年こそ優勝、

を目指してもらいたい。

男子は、全6試合中5試合が大將戦にもつれる。今までにない白熱した大会となりました。結果は、1勝1敗1分の2位でした。各選手が最後まで諦めることなく、後へへと繋いだことにより3試合とも大將戦となる熱戦になったのだらうと思います。各選手の頑張りと共に、大將を務めた森井選手と、全勝賞を獲得した久木原選手に敬意を表したいと思います。

選手の中には、本大会に快く出場していただきましたことに感謝申し上げます。同時に、各選手の今後の活躍を祈念いたします。出場選手、試合結果は、以下のとおりです。

女子の部

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將	勝敗
愛知県	井手野	小川	迫	今道	森島	3/2
岐阜県	生出	阿部	猪俣	佐合	青豆	1/0

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將	勝敗
三重県	長谷川	玉置	寺下	小林	安達	2/1
岐阜県	生出	阿部	猪俣	佐合	青豆	2/1

	先鋒	次鋒	中堅	副将	大將	勝敗
静岡県	新井	園田	寺田	神田	井口	2/1
岐阜県	生出	阿部	猪俣	佐合	青豆	4/3